

# 東西脇多可の会会報

第14号

平成27年1月

■ 西脇事務局 西脇市役所秘書広報課 〒677-8511 兵庫県西脇市郷瀬町605 TEL.0795(22)3111 内線207

■ 多可事務局 多可町役場総務課 〒679-1192 兵庫県多可郡多可町中村町123 TEL.0795(32)2380



## ▲ふるさとの景色

(左) 杉原川にかかる蓬萊橋／西脇市西脇 (右上) 西脇市役所前から北を望む／西脇市郷瀬町

(右下) 椿坂のホビイ模型店跡／西脇市西脇

## 会長あいさつ



東京西脇多可の会  
会長

小澤豊彦

### 「故郷は遠くにありて思ふもの」 室生犀星

会員の皆さま、ご家族さま、よいお年を迎えたこと思います。

私は西脇市に生まれ大学入学以降、ふるさとを離れて50余年になります。子どものころ、播州織が盛んで工場も多く、春には集団就職で大勢の女子工員が来られて、活気のある街でした。野山を駆け巡り、山菜、キノコも豊富でよく採りに行きました。田畠も多く、お米、各種野菜が実っていました。田植え、畑仕事、稲刈り等もやりました。秋の黄金色の田でイナゴを捕りました。川にはアユや川じやこ、ウナギ、シジミもおりよく捕りました。また、夏のホタル観賞も忘れられません。昔の西脇高校は童子山の下にあり、実家から椿坂、横尾忠則氏ゆかりの三叉路を通って行きました。たしか三叉路の角には模型店がありよく買い物しました。

年に数回の帰省のたびに実家近傍を散策し、昔をしのんでいました。街並み、自然もかなり変化しましたが、面影の残っているところを見つけては感激していました。最近母親を亡くし、親戚も代替わりし帰省の機会も少くなりそうです。故郷については、東西脇多可の会の会報や西脇市と多可町の広報紙で最近の様子がよく分ります。総会において多くの情報が得られます。昔話も貴重と思っています。会員の皆さまも総会に足を運ばれ大いに故郷の話をしようではありますか。

「美しき川は流れたりそのほとりに我は住みぬ」

室生犀星

# 山田錦発祥の町 多可町

## 「山田穂」と山田勢三郎

多可町中区東安田には「頌徳碑」と言われる碑が建てられています。これは、山田錦の母種「山田穂」の生みの親とされる山田勢三郎(1843-1919年)の功績をたたえ、明治37年に安田地域の住民有志らによって建てられたものです。

山田勢三郎は、旧中町一帯に広大な水田を持ち、毎年の酒米の収穫量は約2千俵と言われるほどの大農でした。明治10年ごろ、勢三郎が雇っている小作農が水田で偶然穂の長い稻を見出し、勢三郎に渡しました。勢三郎は自らの手で試作や研究を繰り返して増殖させ、自らの姓を取って「山田穂」と名付けたのが始まりとされています。

勢三郎は小作人や近隣の農家へ種を分け、東安田を中心に栽培の輪を広げていきました。酒米を出荷する際には、米俵に『山田穂』と焼印を押して他の酒米との差別化を図り、「山田の安田か、安田の山田か」と謳われるほどとなり、明治時代に酒米の王者の地位を確立することとなつたのです。

しかしながら、「山田穂」には大きな欠点がありました。稻の茎が長すぎるので倒伏しやすく、病害虫にも弱かったです。勢三郎の死後、明石の県立農事試験場で、茎の低い「短桿渡船(たんかんわたりぶね)」と掛け合わせることで、米の粒の大きさを揃え、病害虫にも強く、倒伏しにくい酒米を目指して研究が行われました。長い苦闘を経て昭和11年に完成された酒米は、母種である「山田穂」に敬意を表して『山田錦』と命名されました。同年2月27日付、兵庫県報第1065号で『山田錦』が告示され、兵庫県の奨励品種にも認定されました。

今や、酒米の王様として全国的に名高い『山田錦』。秋は田んぼが小金色に染まり、山田勢三郎の努力と精神が多可町で受け継がれています。



▲妙見山（中区）と山田錦

▼登紀子の田んぼで田植え



▼「山田錦発祥の町」の碑



▲純米大吟醸

▲山田錦うどん

## 「日本酒の日」コンサート

旧中町の時代から続いている「日本酒の日コンサート」。これは、毎年10月1日に歌手の加藤登紀子さんをお招きし、多可町の山田錦から造られた日本酒を味わいながら、登紀子さんの歌声に酔いしれようという素晴らしいコンサートです。

多可町中区坂本にある「登紀子の田んぼ」で育った山田錦を使った、加藤登紀子ブランドのオリジナル純米大吟醸が毎年醸造されています。今年度の酒の名前は、農業をする青年への応援の意味を込めた「愛を耕すものたちよ」となり、加藤さん直筆の文字がラベルにプリントされています。

多可町でしかできないオンラインのまちづくりとして、全国への文化発信を目指しています。



▲平成26年度の加藤登紀子オリジナル純米大吟醸「愛を耕すものたちよ」

▶多可町の山田錦を使った日本酒



## 伝統の手漉き和紙「杉原紙」

多可町は、兵庫県の重要無形文化財・伝統的工芸品に指定されている1,300年の歴史と伝統を持つ和紙・杉原紙の発祥の地です。全国の手漉き和紙に携わる青年男女がお互いの技術交流と和紙文化の伝承のために集う「全国手漉き和紙青年の集い」の平成28年度開催地にも選ばれています。

杉原紙の工房見学や紙漉き体験ができる「杉原紙研究所」の工房・体験スペースを現在整備中で、来年度からリニューアルする予定です。同研究所では、昨年から杉原紙の新ブランド「和紙もん」を設け、名刺入れやタブレットケースを「自治体特選ストア」で販売しています。また、杉原紙の魅力を全国に発信するため「杉原紙年賀状全国コンクール」を毎年開催しています。

### 杉原紙研究所

多可郡多可町加美区鳥羽768-46

TEL : 0795-36-0080

### ヤフーショッピング『自治体特選ストア多可町』

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/gts-taka/>



▲自治体特選ストアで購入できる「和紙もん」



▲「杉原紙年賀状全国コンクール」作品展

## ここにあり！播州歌舞伎



多可町が誇る伝統芸能「播州歌舞伎」。10~30歳代の女性を中心とした地元の若者たちが、先人の願いと伝統を引き継ぎ、町内外で公演を行っている「多可町中央公民館歌舞伎クラブ」が20周年を迎えました。

1月に20周年記念公演を開催する予定です。歌舞伎弁当や歌舞伎グッズも付いた大満足の内容となっています。播州歌舞伎初体験の方も、大ファンの方もぜひお越しください。

### 『播州歌舞伎クラブ20周年記念公演』

とき 1月18日(日) 午前11時30分開演

ところ ベルディーホール

※多可町中央公民館にて、チケット(1,000円)販売中

## ふるさとだより

ふるさと西脇市・多可町の話題をお届けします。

## オリジナルの播州織オーダーシャツ

播州織は約220年の歴史を持ち、西脇市発展の礎となりました。その一番の特徴は、先に糸を染めて、染め上がった糸で柄を織る「先染織物」という手法を用いることです。国内先染綿織物の70%以上のシェアを占めています。独特的な製法によって自然な風合い、豊かな色彩、素晴らしい肌触りの生地に仕上がり、シャツやハンカチ、テーブルクロスなどさまざまな商品に加工されています。



▲旧来住家住宅敷地内にある「西脇情報未来館21」



▲1,000種類の播州織生地で自分だけのシャツを作ることができる

○パターンオーダー 6,480円／1着  
○フルオーダー 9,720円／1着

### 西脇情報未来館21

西脇市西脇394-1 TEL : 0795-25-0077

## 都市と農村の「交流施設」がオープン

西脇市日本のへそ時計の丘公園オートキャンプ場内に「交流施設」がオープンしました。豊かな自然を満喫しながら、地元の人々の「技」や「知恵」にふることができます。地場産農産物をふんだんに使用した「農家レストラン日時計」を核に、そば打ちや木工クラフト、ピザづくり、みそづくりなどの体験教室があり、多目的広場ではグラウンド・ゴルフを楽しめます。地域の人々や公園を利用する都市部の人々との交流の場としての役割も担っています。

### 西脇市日時計の丘公園オートキャンプ場

西脇市黒田庄町門柳871-14

TEL : 0795-28-4851



# — 平成26年度総会・懇親会・ダイジェスト —



昨年1月24日に、平成26年度の総会を東京・ホテル ルポール麹町において開催しました。

総会では、本会の事業計画や予算などを決定いただきました。その後、お待ちかねの懇親会を開催、多くの新会員さんを順に紹介し、仲間が増えたことを喜び合いました。また、三和田義廣理事が招待された太鼓もち芸人の悠玄亭玉八さんにもご登場いただき、楽しいひとときを過ごしました。

さらに、ふるさとの特産品などが当たる恒例のお楽しみ抽選会、三井弥生副会長の歌唱指導で西脇市歌、多可町歌を斎唱し、大いに盛り上がりました。



## 平成27年度 総会・懇親会のお知らせ

平成27年1月30日(金)  
午後6時30分から  
東京・都市センターホテル6階  
において開催する予定です。

今年も楽しい会にしたいと思います。

ぜひ知人・友人をお誘い合わせでご出席ください。お待ちしております♪

- ①議事進行する小澤会長
- ②林西脇市議会議長のご発声で乾杯
- ③岡田理事が司会進行
- ④総会の様子
- ⑤西脇工業高校甲子園出場を紹介するブース
- ⑥新会員の皆さまを紹介
- ⑦和やかな雰囲気の懇親会
- ⑧悠玄亭玉八さんによるアトラクション

## 会費の納入について

規約により、本会の会費は総会時に納入することになっています。また、会計年度は毎年1月1日に始まり、同年12月31日をもって終わります。

総会を欠席される方は、直接お納めくださいますようお願い申し上げます。

◆年会費 2,000円

◆口座 次の2種類があります。どちらかにお振込みください。

①郵便局（郵便振替口座） ※振込手数料不要

●口座番号：00930-3-188810 ●口座名：東京西脇多可の会「払込取扱票」が必要な場合は郵送いたしますので、事務局へご連絡ください。

②三井住友銀行西脇支店

●店番号：441 ●口座番号：5321552

●口座名：東京西脇多可の会事務局

足立英則（アダチ ヒデノリ）

## 転居等の際はご一報を

住所や勤務先の異動がありましたら、お手数ですが事務局へお知らせください。

ご連絡がない場合、案内文書や広報などをお届けできないことがあります。ご協力をお願い申し上げます。

## ■新会員募集中■ ぜひご紹介ください！

西脇市と多可町にゆかりのある知人・友人にお勧めください。入会手続きは、いつでもO.K.です。

「加入承諾書」は、西脇市・多可町のホームページからもダウンロードできます。

【西脇市HP】

<http://www.city.nishiwaki.lg.jp>

【多可町HP】

<http://www.town.taka.lg.jp>